

那覇・首里城炎上



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2019年



炎上する首里城の正殿＝31日午前4時18分、那覇市（石崎豪さん撮影）

世界遺産

正殿、北殿、南殿全焼

号外

購読申し込み

0120-13-1231

电子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

31日午前2時40分ごろ、那覇市の首里城で「煙

が上がっている」と警備会社から119番があった。正殿などが激しい炎を上げて燃え、消防車両が10台以上出動して消火に当たったが、首里城の正殿と北殿、南殿がいずれも全焼した。けが人の情報はない。那覇署や消防が出火原因や経緯を調べている。

那覇署によると、正殿と北殿、南殿はいずれも木造。近接する「奉神門」や「書院・鎖之間」も延焼した。今月27日からは琉球王国の儀式を再現する「首里城祭」が開かれており、30日深夜まで関係者が準備を進めていた

という。火災を受けて那覇市は

災害警戒本部を設置し、公民館や小学校計3カ所に避難所を設けた。那覇署などは周辺住民を避難誘導した。那覇市消防局は火の粉が広範囲に舞っているとして、31日午前4時すぎから防災無線で住宅への飛び火に警戒するよう呼び掛けた。

琉球王国の中心地だった首里城は太平洋戦争で建物物が全て焼失したが、1992年に主要施設が復元された。首里城跡を含む「琉球王国のグスクおよび関連遺産群」は2000年に世界遺産に登録された。